



# 消防大学校だより

## 緊急消防援助隊教育科 航空隊長コース(第8回)

消防大学校では、「緊急消防援助隊教育科 航空隊長コース(第8回)」を平成24年1月16日から1月27日までの12日間にわたり実施しました。本コースは、航空隊の運用・活動統制、安全管理、広域応援、地上部隊との連携等に主眼を置き、その業務に必要な知識及び能力を修得させることを目的としており、8回目となる今回は、全国の消防防災航空隊の隊長及び副隊長として活躍している36人が受講しました。

カリキュラムの具体的な内容としては、「航空法規」、「航空工学」などの基礎的知識の講義をはじめ、消防庁国民保護・防災部の幹部職員による「応急対策行政の現状と課題」や「消防広域応援の対応」についての講義、自衛隊、海上保安庁及び警察による「航空運用」に関する講義、東日本大震災で全国の航空隊から応援を受けた宮城県防災航空隊の受援対応とその実態についての講義

のほか、事前に持ち寄った活動事例について各班の代表が発表し、討議及び研究を行う「災害活動事例研究」を実施しました。

また、民間航空会社における安全管理体制について学ぶため、全日空オペレーションマネジメントセンター及び訓練センターでの視察研修を実施しました。

今回の研修を受講した学生からは、「講義や災害活動事例研究の内容が幅広く、とても有意義だった。」、「他の航空隊の方との意見交換ができ、共通の悩みを持つ方々と知り合うことができた。」、「大規模災害時での航空応援・受援要領が理解できた。」などの意見が多く寄せられました。

今後、消防大学校で習得した幅広い知識や経験を糧に安全を第一に、航空隊の機動力を活かした取組の充実・強化が期待されます。



災害活動事例研究



消防庁消防・防災危機管理センターでの講義

## 危機管理・防災教育 危機管理・国民保護コース(第1回)

消防大学校では、「危機管理・防災教育科 危機管理・国民保護コース(第1回)」を平成23年12月12日から12

月16日までの5日間にわたり実施しました。本コースは、昨年度まで実施していた「国民保護コース」及び「危機

管理実務コース」を統合したもので、地方公共団体の危機管理・防災担当者及び国民保護行政の実務担当者を対象に、事案発生時において迅速・的確な初動対応がとれるよう、その業務に必要な知識及び能力の修得を目的としています。

カリキュラムは、消防庁国民保護・防災部の幹部職員による「国民保護法制」についての講義、著名な専門家による「危機管理」に関する講義のほか、図上訓練、課題ごとに班編成を行っての課題研究討議及び発表の時間を取り入れるなど、実践的な内容としました。

受講した学生からは、「講義では、最新の知識や先進的な自治体の取組などを修得でき、また、課題研究では、共通する問題点や今後の対応などを学びとても有意義だった。」「他の都道府県、市町村、消防本部の方との意見交換ができて良かった。」「早速職場に持ち帰り対応したい。」などの意見が多く寄せられました。

今後、消防大学校で修得した幅広い知識を発揮し、地域の安心・安全の確保に向け、更なる活躍が期待されます。



課題研究・討議



課題研究・討議（発表）

## 消防大学校成績優秀者(学生番号順)

科 名 (期)	氏 名	所属消防本部 (都道府県)
警防科 (第90期) 10月19日～12月7日 60名	荒木 正行 下別府 稔 中村 博人 山崎 健一 村上 秀雄 米須 繁	山形県消防学校 (山形県) 川崎市消防局 (神奈川県) 福岡市消防局 (福岡県) 大牟田市消防本部 (福岡県) 宮崎市消防局 (宮崎県) 宜野湾市消防本部 (沖縄県)
火災調査科 (第22期) 10月19日～12月7日 48名	粟野 真充 伊藤 広幸 吉田 卓司 富岡 裕也 岩佐 剛宏 小笠原敬之	旭川市消防本部 (北海道) 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 (秋田県) 多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部 (群馬県) 渋川広域消防本部 (群馬県) 市川市消防局 (千葉県) 東京消防庁 (東京都)